

# APCTP Workshop on Multiferroics

10月19日～21日に東京大学本郷キャンパスで開催される表記研究会 ([http://crystal.k.u-tokyo.ac.jp/14th\\_apctp/](http://crystal.k.u-tokyo.ac.jp/14th_apctp/)) で徳永研D3の陳健氏が「Multistage Magnetoelectric Effects in  $\text{Fe}_2\text{Mo}_3\text{O}_8$ 」という題目でポスター発表を予定しています。



陳氏はハニカム格子を持つイジング反強磁性体 $\text{Fe}_2\text{Mo}_3\text{O}_8$ の強磁場物性を研究し、磁化飽和に至る過程で6段のマルチステップ構造を見出しました。さらに同物質の磁場中電気分極測定でも同様のマルチステップ構造を観測するとともに、最大で $12,000 \mu\text{C}/\text{m}^2$ に及ぶ巨大電気磁気効果を見出しています。この特異な磁場応答の起源を知りたい方は陳氏のポスター発表 (PS-14) またはarXivの論文 (<https://arxiv.org/abs/2309.10583>) をご参照ください。